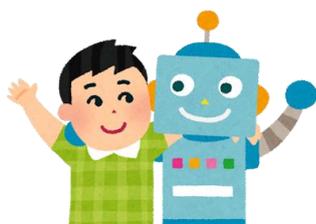




ワクワクする未来のつくり方



6月の全校朝会、校長の話は『ワクワクする未来のつくり方』でした。4月のご挨拶でも述べましたとおり、子ども達には、予測困難な未来社会において、創造性を発揮し、未来の「創り手」になってもらいたいです。以下、一部省略にて紹介します。

～（前略：実は、身の回りには、コンピュータで動く便利なものがあふれているという話）～
コンピュータはどんどん進化していて、AI、人工知能と呼ばれるものもあります。

AIはとても賢いので、私達をととてもよく助けてくれます。賢いうえに、人間みたいに疲れることがありませんから、仕事をとられてしまうのではないかと、心配する人もいるぐらいです。これからは、こんな便利なコンピュータのことをもっとよく知って、上手に付き合いながら、わたしたち人間にしかできないことを見つけていくことが大切になってきます。

人間にしかできないこととは何でしょう？

それは、「新しいもの」や「新しい考え」を「つくる」「つくりだす」ということです。

コンピュータ、AIは、決められたことを「速く」「たくさん」やることは得意ですが、何も無いところから新しいものをつくること、ゼロからイチをつくりだすことは苦手です。

ですから、みなさんには「どんどんやってみる、どんどんつくってみる」力をつけてもらいたいと思っています。その時に役に立つ道具が、1人1台のパソコンです。みなさんを助けてくれるいい友達、相棒になってくれます。

未来のつくり方。そのための第一歩は、失敗を恐れず、「どんどんやってみる、どんどんつくってみる」ことです。ポイントは、コンピュータと「どれだけなかよくなれるか」。

まずは、みなさんの身近にあるパソコン＝タブレットをしっかりと使っていきましょう。

1年生のみなさんは、もう少し学校に慣れてから使うことになります。楽しみに待っていてください。2年生以上のみなさんは、どんどん使ってください。簡単なことからでかまいません。大切なのは慣れることです。…

リモート全校朝会でした。校長室から配信し、各学級でタブレットを電子黒板につないで視聴しました。これからは当たり前風景にしていきます。

タブレットの授業活用、持ち帰り活用を推進したいので、家庭での充電等、ご理解とご協力をお願いします。



生活の話：画面に集中しています

受け継ぐということ ～ハナ子まつり～

中尾ハナさん。鬼塚小の卒業生であれば知らない方はないでしょう。

「おぼれた子を助け、命の炎、燃え尽くす」。唐津市教育委員会が作成し各学校に配付されている冊子『郷土につくした人々 ふるさと唐津の偉人たち』にも、同題で自らの危険を顧みず二人の子どもの命を救ったハナさんの物語・功績が取り上げられています。

6月3日、そのハナさんの慰霊と子ども達の水難事故防止をねらいとして、ハナ子まつりを行いました。小運動場の「お花観音さま」の前で行う予定でしたが、あいにくの雨で体育館での実施。しかし今年は嬉しいゲストがありました。鬼塚小の卒業生で、唐津西高校の生徒さんに参加していただいたのです。鬼塚小のハナ子まつりで学んだ「命の尊さ」が、今後の進路を決めるひとつのきっかけになったというとてもよい話をしていただきました。唐津西高校は、ハナさんが17歳で亡くなった当時在籍していた学校です。

94年前の出来事が今なお強いメッセージを放ち、関わる人々の心に深く刻まれていきます。私たち鬼塚小学校には、紡がれてきたこの唯一無二の物語を、これからもしっかりと受け継いでいく使命があります。

受け継ぐということ。ハナ子まつりをとおして、偉大な先輩を誇りに想う気持ちとあわせて、愛校心や地域を大切にしたいと思えます。



ハナさんの遺影へ代表による献花

「唐津市教育の日」 参観ありがとうございました

今年度2回目の授業参観、500名を超えました！ ありがとうございます。

今回は多くの学級で「ふれあい道徳」を実施しました。ふれあい道徳は市内すべての学校が取り組んでおり、時期は各学校に任されていることから、鬼塚小では教育の日に合わせています。

本校の道徳の学習について、保護者の皆様には「家族でタイム」を通じて知っていただいているところですが、実際に参観・参加いただくことで、より詳しく知っていただけたのではないかと思います。昨年度の児童アンケートでは、「自分にはよいところがあると思う」の項目で、74.8%から87.1%へと12ポイント以上も向上しました。6年間続けてきた取組のすばらしい成果です。



体験を通して学んだAED使用方法

自己肯定感を高める本校の道徳教育について、今後とも引き続きご理解とご協力をお願いします。

また、4校時には、消防署の方をお招きして救急救命講習を行いました。「初めてAEDを使用しました。もしものために練習ができてよかったです。」「(忘れしまうので)定期的に受講することが大切だと思った。」といった感想が聞かれました。たいへん有意義な会となりました。